



## 石井病院 診療情報 ～ 新型コロナウイルス（COVID-19）に関する情報 ～

**新型コロナウイルス** について、厚生労働省、明石市医師会のホームページ等で掲載されている内容を抜粋してお知らせいたします。※ 2020年2月17日 現在

### 新型コロナウイルスに関するQ&A（一般の方向け）

#### Q 新型コロナウイルス感染症とは？

ウィルス性の風邪の一種で、発熱やのどの痛み、咳が長引くこと（1週間程）が多く、強いだるさ（倦怠感）を訴える方が多いことが特徴です。感染から発症までの潜伏期間は1～12.5日（多くは5～6日）といわれています。



#### Q 新型コロナウイルスにはどうやって感染しますか？

感染者のくしゃみや咳、ツバなどの飛沫に含まれるウィルスを吸い込んでおこる「飛沫感染」とウィルスが付着した手で触ったもの（ドアノブやつり革、スイッチなど）を介して手から手にウィルスが移り、その手で鼻や口を触ることで粘膜から感染する「接触感染」があるといわれています。

#### Q 日常生活で気を付けることはありますか？

- ① 石けんやアルコール消毒液などによるこまめな手洗い
- ② 正しいマスクの着用を含む「**咳エチケット**」
- ③ 高齢者や持病がある方は公共交通機関や人混みの多い場所を避ける
- ④ 発熱などの風邪の症状が見られる時は学校や会社を休み外出を控えて、毎日体温を測定して記録する



#### Q 新型コロナウイルスの感染症についての相談・受診の目安

**次の症状がある方** は、医療機関を受診する前に、下記【**帰国者・接触者相談センター**】にご相談ください。相談の結果、感染の疑いがある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」を紹介いたします。

- ① **風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている**（解熱剤を飲み続けなければならないときを含む）
- ② **強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）**がある

なお、以下の方は重症化しやすいため、この状態が**2日程度**続く場合にはご相談ください

- ・ 高齢者の方や糖尿病、心不全、呼吸器疾患などの基礎疾患のある方や透析を受けている方
- ・ 免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方

【**帰国者・接触者相談センター**】※ コロナウイルスに関する一般的な相談も受け付けています。

**あかし保健所** 電話 **078-918-5439**（専用ダイヤル）（平日 8時55分～17時40分）  
※ その他の時間帯は 明石市役所 代表 078-912-1111

**神戸市保健所** 電話 **078-322-6829**（専用ダイヤル）（土日・祝日含む 24時間）

**厚生労働省** 電話 **0120-565653**（フリーダイヤル）（土日・祝日含む 9時00分～21時00分）



1月24日から26日に国立京都国際会館で開催された日本病態栄養学会に、石井院長と小原先生、栄養管理室のスタッフ全員で参加して参りました。

昨年に引き続き、『大腸がん患者の身体活動量と食事摂取量の関連性について』の発表をさせて頂きました。会場には5000人以上の管理栄養士や医師などが参加しており、刺激のあるとても有意義な機会になりました。当日は様々な講演や演題が多数取り上げられており、栄養療法に関する最新の知識を深めることが出来、大変勉強になりました。

近年、がんと栄養は注目されております。体重減少や過剰な体重増加を避け、適切な体重を維持する。好き嫌いをせず、バランスの良いお食事をしっかりと食べる。そして、運動をし、日常生活での活動量を上げることが重要だと言われております。病期や病態に応じた栄養状態の適切な評価と栄養管理が非常に大切です。今後もより一層、患者さまの栄養管理を個々に応じてサポートいきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

最後になりましたが、この場をお借りして、この度の学会発表にご協力を頂きました皆様に厚く御礼申し上げます。



管理栄養士  
がん病態栄養専門  
管理栄養士  
栄養課 副主任  
たけもと あんり  
**竹本 安里**



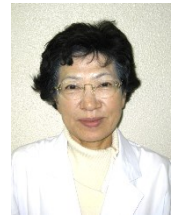
(学会発表の様子)

## じんけいクリニック ～ 透析患者さまの塩味に対する味覚の感じ方について ～

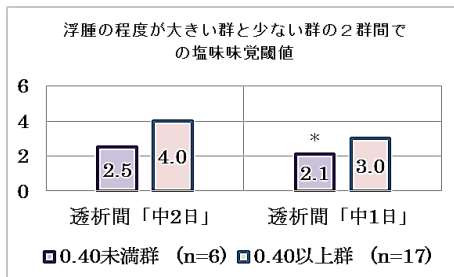
じんけいクリニックの患者さまにおかれましては、ますますご清祥のことと存じます。

みなさまには、平素より、栄養食事調査について、ご協力を賜り感謝申し上げます。

味覚の研究では「透析患者は体内のミネラルバランスの悪化や唾液分泌量の低下、服薬状況などにより、味覚の感じ方が低下している場合が多い」と言われています。味覚が低下すると、味付けが濃くなったり、薄味のもので食べられなかったりすることから、1日の塩分(食塩相当量)の摂取量が多くなり、体内のナトリウム濃度を薄めようとして飲水量が増加します。透析間の体重増加率が高くなる患者さまの味覚の感じ方は低下していることが明らかになりました。しかし、体重測定値からでは真の体内水分量(細胞外水分量と細胞内水分量)を測定することは難しいです。そこで、インボディを用いて患者さまの体内水分バランスを計測し、味覚の感じ方を調べてみました。浮腫の程度が大きい患者さまの味覚の感じ方は低下していることが明らかでした。これらのことから、患者のみなさまは塩分(食塩相当量)の摂り方を控えて、水分摂取量を少なくし、浮腫の程度を少なくすることが重要となります。特に塩味の感じ方を良好にすることで、日々の食事を薄味でもおいしく食べることができ、みなさまは十分な栄養を摂取することができると思われます。そのことはみなさまの体力の維持につながると考えられます。味覚閾値を良好にすることは透析療法を良好に保つ可能性が期待でき、患者さまの毎日の生活をより良いものできると考えています。



管理栄養士  
いちはし  
**市橋 きくみ**



これらの詳しい内容は、1月23日に京都で行われた第23回日本病態栄養学会年次学術集会で発表いたしました。調査にご協力を賜りました方々に心よりお礼申し上げます。今後も食事療法の調査を重ねて、透析患者のみなさまが体調管理を良好に保ち、有意義な日常生活を送っていただけますように努力していきたいと思っております。末筆ではございますが、みなさまのますますのご健勝をお祈りいたします。

(注) 細胞外水分比0.40で群分け  
0.40群以上群(浮腫の程度大きい) 0.40未満群(浮腫の程度が小さい) p < 0.05 = \*

### ■ 医療連携相談室

TEL 078-918-1512 FAX 078-918-1725  
平日 9:00～12:00 14:00～17:00  
土曜 9:00～12:00  
担当 酒見 古門 上野

### 編集・発行

医療法人社団 仁恵会 石井病院 広報委員会  
〒673-0881 明石市天文町1-5-11  
TEL 078-918-1655 FAX 078-918-1657  
<http://jinkeikai-group.or.jp/ishii/>